

目標に向かってチャレンジ!

平成27年度<sup>えがお</sup>愛顔のえひめ特別支援学校



# 技能検定



## 清掃



机拭き・自在ぼうき  
水拭きモップ・ダスタークロス  
掃除機・事務所清掃

## 接客



喫茶サービス

## 販売実務



商品化

### ～技能検定の意義～

- ☆ 技能検定への取組を通じて、障害のある生徒の社会参加・自立につながる力の育成を目指します。
- ☆ 日頃の学習の成果を発揮し、外部専門家からの客観的な評価による認定を受けることで、自信を高めます。
- ☆ 目標をもってチャレンジすることが、将来、自分の役割を果たしながら社会の中で自分らしい生き方をしていこうとする意欲につながります。

### 開催予定

第3回 7月31日(金)

9:30～15:30(予定)

場所:愛媛県武道館

わたしたちの力  
とやる気を見に  
来てください!



技能検定のテキスト(手順表・解説・評価表)は、特別支援教育課のホームページに掲載しています。

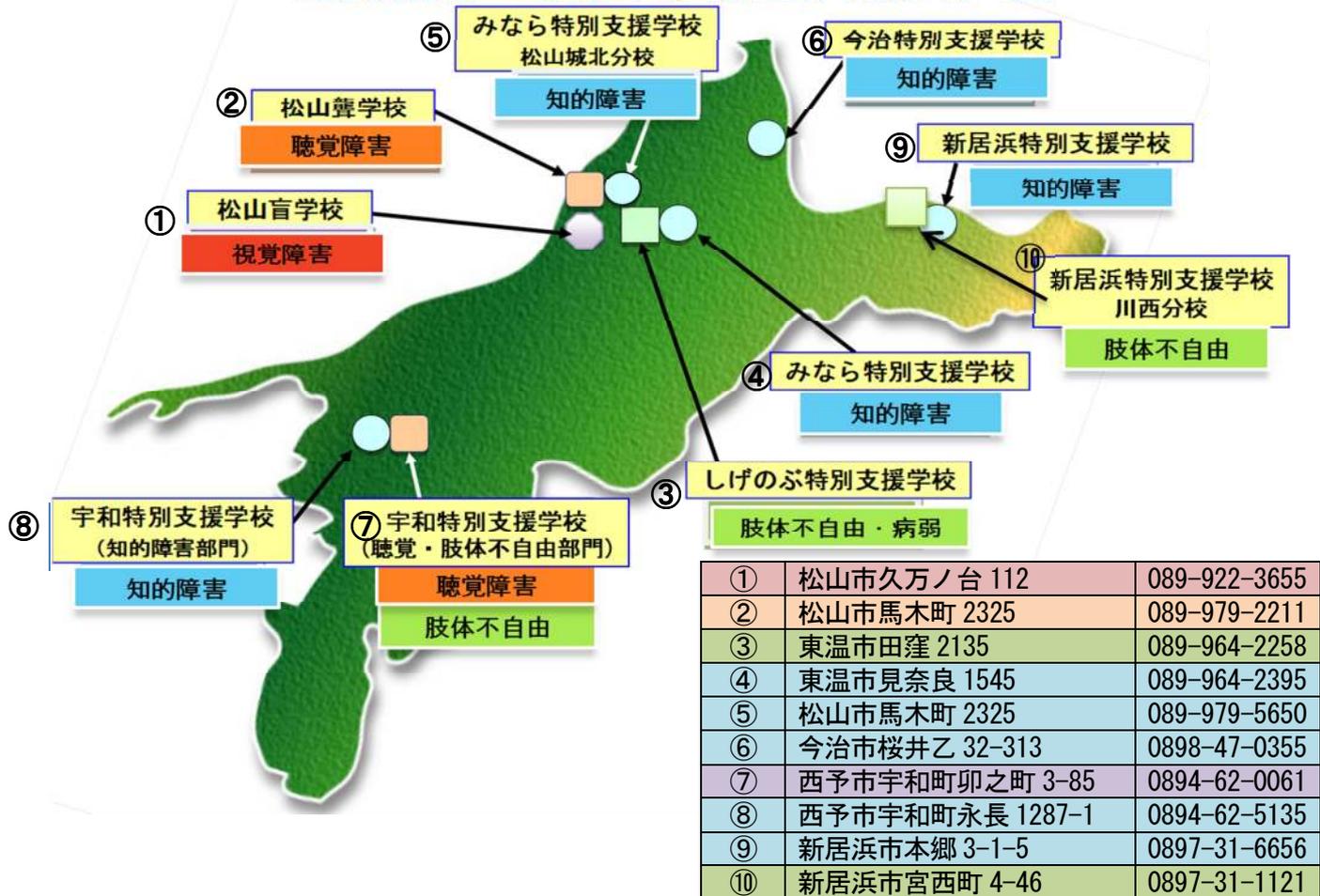
### 問合せ先

愛媛県教育委員会 特別支援教育課

松山市一番町4丁目4番地2

Tel 089-912-2967

# 愛媛県の県立特別支援学校



①	松山市久万ノ台 112	089-922-3655
②	松山市馬木町 2325	089-979-2211
③	東温市田窪 2135	089-964-2258
④	東温市見奈良 1545	089-964-2395
⑤	松山市馬木町 2325	089-979-5650
⑥	今治市桜井乙 32-313	0898-47-0355
⑦	西予市宇和町卯之町 3-85	0894-62-0061
⑧	西予市宇和町永長 1287-1	0894-62-5135
⑨	新居浜市本郷 3-1-5	0897-31-6656
⑩	新居浜市宮西町 4-46	0897-31-1121

## ～職場(現場)実習に ご協力をお願いします～

現場実習では、実際の職場で働くことを経験する中で、職場のルールや人間関係の大切さ、自分の役割に責任をもって最後までやり遂げることの重要性など職業生活を送るために必要な事柄を学びます。また、社会の中で働く充実感や感謝される喜びを味わうことで、自分から仕事に取り組む意欲を高めるよい機会となっています。さらに、実習で学んだことが、その後の学習や生活に生かされ、進路選択や進路決定に大いに役立ちます。

各特別支援学校の高等部では、年に1～2回（6月及び10月～11月頃）、3日～3週間程度、様々な事業所にご協力をいただき、現場実習を実施しています。現場実習の意義をご理解いただき、学校生活で培った力や一人一人の可能性を試す機会をご提供いただきますようお願いいたします。

- 就業時間や仕事内容は、事業所の規則に準じます。
- 労働に対する報酬などは必要ありません。
- 生徒の実習は、学校や保護者が協力して支援します。
- 実習中は、教員が巡回指導または引率指導を行います。
- 実習中のけが等は、日本スポーツ振興センターの保険が適用されます。



### 問合せ先

愛媛県教育委員会 特別支援教育課  
松山市一番町4丁目4番地2 TEL 089-912-2967



第1回 8月1日

えがお  
平成26年度愛顔のえひめ特別支援学校技能検定

第2回 12月25日

県武道館に県内の特別支援学校の生徒が一堂に会し、清掃、接客、販売実務サービスの3部門8種目〔※清掃の掃除機、事務所清掃は2回目から実施〕の技能検定に延べ171名の生徒が挑戦しました。緊張しながらも、日頃の努力の成果を発揮し、目標達成に向け真剣に取り組めました。



受検者の感想

もっと技を磨きたい。



練習してきた成果を発揮できてよかった。



お客様が入ってきたときや見送るときに感謝の気持ちを持つことの大切さを学ぶことができた。

いろいろなことにチャレンジする楽しさを知った。

将来は、清掃関係の仕事に就きたい。

1級を取るためには、日々の授業での積み重ねが大切だと思った。

就職を目指す上で自信が持てた。



教員の感想

- 生徒にとって、課題の克服に向け、目標を立て、地道に取り組むことを体験する機会となってよかった。
- コミュニケーションが苦手な生徒が、全校生徒の前で顔をあげて話せるようになった。自信がついたのだと思う。
- 個々の能力を最大限に発揮させることの大切さを再認識した。
- 検定の手順だけでなく、社会が望む人物像を意識し、言葉遣いやマナー、服装などにも注意を払うようになった。
- 職業生活に通用するという視点で、指導するようになった。

保護者の感想

- 子どもの真剣な様子を見ることができてよかった。
- 努力することの大切さを学び、自信がついてきた。
- 自分に任されたことは最後までやろうという気持ちが出てきた。
- 家の掃除や料理を進んでしてくれるようになった。
- 苦手だった接客に挑戦したことで、何にでも積極的に取り組めるようになったことをうれしく思う。
- より多くの企業の方に、検定を受ける子どもの様子を見てもらい、障害者が働くことに生きがいを感じられる職場が増えてほしい。



# 平成 26 年度愛顔のえひめ特別支援学校技能検定 受検結果

《第 1 回》 8 月 1 日 《第 2 回》 12 月 25 日

級 \ 種目	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級	級外	計
机拭き	15	3	6	2	3	2				31
自在ぼうき	3	9	8	7	1	2				30
ダスタークロス	2	2	5	10	6					25
水拭きモップ		5	6	6	3	1		1		22
掃除機		2	1	2			1		1※	7
事務所清掃			2		1	2				5
喫茶サービス	2	8	4	1	5	1				21
商品化	3	8	7	3	3	1			5※	30
計	25	37	39	31	22	9	1	1	6	171

※ 商品化の 3 名については、身だしなみの評価が不合格であったため、級の認定を行わない。

※ 掃除機の 1 名、商品化の 2 名については、制限時間内に全工程を終了できなかったため、級の認定を行わない。



第 1 回 1 級認定者



第 2 回 1 級認定者

## < 社会人として頑張っています。 > ~平成 26 年度技能検定受検生~



現場では、覚えなければならぬことがたくさんあり、大変なこともあるようですが、元気に明るく頑張ってくれています。(職場の方より)

春から、私の夢だったカフェ店員の生活がスタートしました。学校生活とは違い、厳しさを感じる毎日です。高等部で実習を積み重ねて、作業に慣れていたつもりでしたが、スピードが遅く、注意されることが度々ありました。2ヶ月たった今、少しずつ作業にも慣れ、分からないことは先輩に聞くことができるようになってきました。また、社会に出て「最初から最後まで自分の責任でしないとイケない」ということに気がきました。私の運んだ料理を見て「おいしそう」とお客様から言われ、働く喜びを感じることができています。周りが見えずに失敗することもあります。涙を我慢して「ここで負けたくない」という気持ちで頑張っています。いつもお越しいただくお客様に顔を覚えていただき、笑顔も出せるようになってきました。

技能検定で 1 級をいただいたことで、仕事に対する自信が生まれ、夢を実現することができて本当によかったです。夢だったカフェ店員の仕事を続けられるように、感謝の気持ちと負けたくないという強い気持ちで頑張ります。

みなら特別支援学校卒業生 井上 夏美さん

清掃会社に就職し、松山市内のホテルで働いています。勤務時間は、10時から15時です。お客様がチェックアウトした後の部屋の清掃やベットメイキングをしています。お風呂やトイレ掃除、タオルや寝巻き、歯ブラシ、ティッシュペーパーなどの補充、シーツ交換、床の掃除機がけ、机や棚の拭き上げ等、任された部屋を一人で仕上げていきます。最初は、一日4部屋でしたが、今は10部屋できるようになりました。一つ一つの作業を早く終わらせて、時間内にたくさんの部屋の掃除ができるように頑張っています。任される部屋数を10以上にすることが、今の目標です。今の仕事は、人の役に立てるので好きです。高等部のクリーン班で、公民館や和気浜の清掃をしたことや技能検定に挑戦したことが、今の仕事に活かされています。

みなら特別支援学校松山城北分校卒業生 玉井 大貴さん



真面目で、几帳面に仕事をしてれています。作業も手早くできるようになってきました。(職場の方より)